

# 新たな自治体 議会・議員の役割

3月23日開催

幸田町議会は、「議員のなり手問題を考える」をテーマに、東京大学法学部、金井利之教授を講師に迎え、研修会を開催した。

## なり手不足の問題点

これは自治体議員に特有の現象ではない。自治会の役員、民生



講師の金井利之教授

委員、消防団員なども同様である。

町村長は、平成の大会合で鎮静化されている。

無投票は、※うやうや有象無象の人物でも立候補すれば当選して、問題議員を生み出す背景になっている。

## 一三代表制とは

議会と首長は対等か

首長は、住民でなくても成れるが、議員は住民であることが必要という観点から、首長は、政策決定に議会の同意が必要となっている。

しかし、首長は、お金と人員を掌握している点で、議員に勝る権限を持っている。

議会が政策決定を担う為には、首長の提出予算を減額査定するなどの議決が必要である。

議員は、議場で首長と政策論議に臨むなどの討議が闘技と成るらしいの「見せる政治」を行うことで、住民の関心を引き出す。

## 議会と人間

議会は多人数になると、意見統一が容易ではなくなる。

意思決定できない「烏合の衆」にならない。

議決は、キレイごとではなく、なまめかしい問題である。

しかし、意見統一は必要であり、会派を結成して、調整し易くする方法も行われている。

## 不規則発言を推奨

他の議員の発言をしっかりと聞いて、知的なヤジは、必要。

真剣に聞いていないと、適格なヤジは行えないから。

議事を面白くして、住民の関心を引き起こすことにもなる。

## ◇所感

議員ひとり一人が、議会の魅力を高める努力をしていく事が必要と感じた。

ことは解説

## 【※有象無象】

取るに足りない種々雑多な人々。



熱心に研修を受ける議員

# 12年間議会だよりのイラスト描き続けて



最初のイラスト

## まきのつぎお 牧野次男さんに 感謝状を贈呈

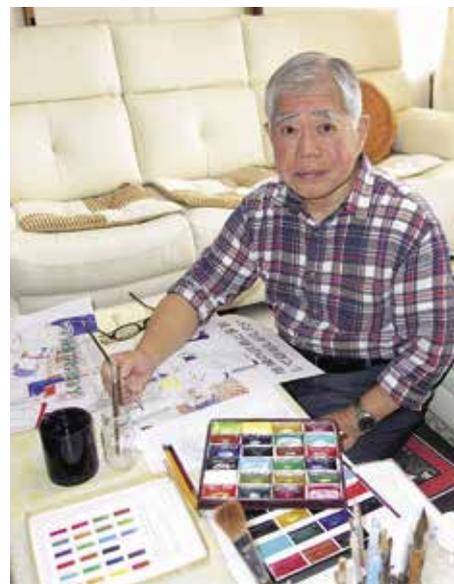
令和3年2月15日、  
議会だよりの「あい・  
らぶ・マイタウン」に  
掲載している、小中学  
生の作文のイラストを、  
12年間描き続けられて  
いる牧野さんに、議長  
から感謝状を贈呈しま  
した。

イラストを描く  
きっかけ

毎号の議会だよりに  
は小中学校9校の児童  
・生徒の作文と、文章  
に合わせたイラストを  
掲載していましたが、  
印刷業者が変わりイラ



稲吉議長から感謝状を贈呈される牧野さん（右）



自宅でイラストを描く牧野さん

ストを描く人がいなくなりました。

平成21年当時、議会事務局長だった牧野さんがみかねて「描きましようか」と提案があり、平成21年5月1日発行の132号から、12年間108枚をボランティアで書いてもらっています。

イラストに込めた  
思い

牧野さんは、児童・生徒の作文を読み、「幸田町への熱い思いを感じ、一筆一筆に心を込めて描いています」と

話しています。時には、絵の構想がつかばず、何日もかけない日が続き「図鑑を調べたり写真をとったりして作文に反映させ、構図を決めます」「幸田中学校時代、美術部で統計図表など書いていたことが役に立っている」などイラストに込めた思いを語っていただきました。

議会だよりと牧野次男さんのイラスト原画の展示会を開催します。  
日時 ● 8月19日～22日  
場所 ● 図書館ギャラリー

